示談書

Ａ（以下「甲」という）とＢ（以下「乙」という）の間で、本日、以下のとおり示談が成立した。

１ 乙は、Ｃ（以下「丙」という）が、既婚者であることを知りながら、平成〇〇年〇〇月頃から、丙と不貞行為を繰り返し、甲に多大な精神的な損害を与えたこと（以下「本件不法行為」という）を認め、甲に対し、ここに深く謝罪する。

２ 乙は甲に対し、慰謝料として金〇〇〇万円を、平成〇〇年〇〇月〇〇日を期限として、一括して、甲が指定する口座への振込む方法により一括にて支払うものとする。

但し、振込にかかる手数料は、乙の負担とする。

３ 乙は、丙と、いかなる理由があろうと、今後一切、接触してはならない。

４ 甲、乙の間の争いは、本示談によりすべて解決し、本示談書に定めるものの他、甲、乙の間には、一切、債権・債務は存しない。

甲、乙間で示談が成立したことの証しとして、本示談書を２通作成し、甲、乙それぞれが署名押印の上、各自１通ずつを保有する 。

平成 年 月 日

（甲） 住所

氏名 印

（乙） 住所

氏名 印